



2025~2026

大洲ライオンズクラブ 会報

11月号 No.467

お お ず



2025年~2026年度ライオンズクラブ国際協会

336-A地区スローガン
ガバナースローガン
ガバナーキーワード
大洲 LC 会長スローガン

「地球を守る、人を護る」
「輝く未来へウィサーブ」
「魅力」
「やれるようにやっぺいこう！」

春賀の里まつり ダーツ出店協力

2025.10.19

令和7年10月19日 “春賀の里まつり” 参加報告

参加:亀岡会長、亀田幹事、宮下し、菊池し、久保し、沖村し、村上 寺尾し(伊予銀ブースにて)

10月19日(日) 渦尻しが運営されている“大洲ホーム”での“春賀の里まつり”に“ダーツコーナー”として出店参加いたしました。

施設の駐車場をイベント広場として使用されるため、乗り合わせにて大洲ホームへ。

おなじみ、久保し作成のダーツ設備一式を設置、午前11時からの開始。天気は上々で、少々暑いくらいでしたが、まさにイベント日和。ダーツはお祭り村でも人気ですし、賞品目当てと腕試しに挑戦者は一生懸命になります。が、隣のスペースで“輪投げ”をされていて、商品が密にシートに並べられ、投げる輪も大きい輪で、簡単に商品ゲットできるという大洲ホームさんにピッタリの出し物です。その賞品は、子どもの喜ぶものがたくさん！ 豪華！大人気でした。そのあおりをくって？…ダーツにお客が来ない！急遽、お菓子(駄菓子)の賞品の上に豪華ぬいぐるみの賞品を加えるという“泥縄策”に出て、集客に頑張りました！(笑)



“春賀の里まつり”は、ピアノコンサートあり、模擬店では専門調理員さんによる焼きそば、伊予銀行さんのかき氷、関係団体の方の飲み物販売、焼き芋、炊き込みご飯、フリーマーケット、キッチンカーによるパンの製造販売、焼きイカ、焼きとり、など盛りだくさんで、その上賞品抽選会もあり、まさに大洲ホームさんの“ミニお祭り村”です。地域の方、子ども達、施設の方々大勢のお客さんが集まり、地域貢献、施設のにぎわい、入所者さんの楽しみにつなげておられました。開始 11:00~14:00 ころまでの時間でありましたが、参加メンバーもワイワイと話ながら楽しみながらのアクティビティとなりました。参加メンバーの方々お疲れ様でした。そして主催者:渦尻し(大洲ホーム理事長)ご苦労様でした、お疲れ様でした。

青少年委員会委員長: 村上富朗

YCE 委員会 ALT との BBQ 交流会 2025.10.24



【大洲で働く ALT との BBQ 交流会 YCE 委員長 兵藤正帛】

10月24日(金)、10月第2例会にて、「大洲市で働くALTとのBBQ交流会」を国立大洲青少年交流の家・野外炊飯場にて開催いたしました。会員20名、ALT7名、教育委員会より2名と、30名近くが集まり、賑やかで楽しい交流例会になりました。

青少年交流の家所長、中尾Lの手配と、交流の家の職員のみなさんのご協力のおかげで、楽しいゲームで始まり、和気あいあいとした雰囲気の中での交流ができました。

また、BBQの量・味ともに大満足でした。

今回の開催においては、教育委員会との交渉、交流の家との打合せ、そして私のあいさつの通訳係と、山本事務局が活躍し、特に英会話の実力に感心しました。

榎部教育長にもご参加頂き、また65周年記念事業に交流の家に寄贈した「マイクロシヨベル」も実際に見ることが出来たりと、素晴らしい交流例会になりました。

皆様、ご参加ありがとうございました。

兵藤 正帛

Thank you for coming !

参加 ALT

イバ -ラ・エウジ エオ・ダ ニエル Ibarra Eugenio Daniel	30	イリノイ
マツソン・ジ ャクソン・ヨン Masson Jackson Yoong	24	カリフォルニア
アンド リューズ・ジ ャロン・シャキール Andrews Jarron Shaquille	28	トリニダード・ トバゴ
フェルナンデス・ジ ユニア・アルト・ホセ Fernandez Jr Arturo Jose	27	カリフォルニア
ボ ニファシオ・ジ ヨン・レンゾ・コハンゴ Bonifacio John Renzo Cojuango	30	ニュージーランド
モルウィク・ケイティ・マリー Morwick Katie Marie	22	イリノイ
レインス・ジ ャクソン・ポール Rains Jackson Paul	30	ミズーリ

その後の交流・・・

Arturo Jose (Turo)は、カリフォルニア出身のメキシコがルーツのアメリカ人。

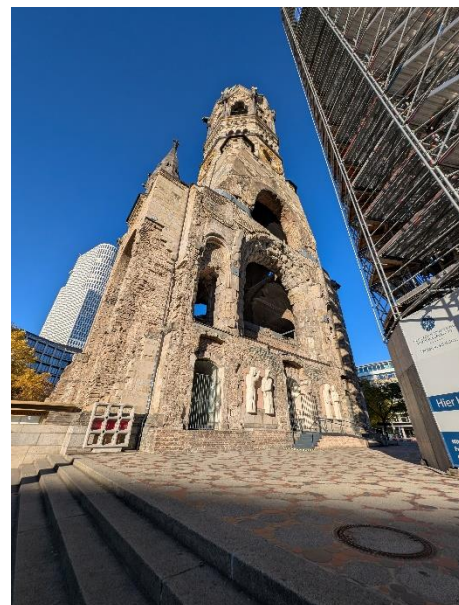
そのせいが、えらくテキーラの会話をするので、深夜2時までテキーラの飲み合いを行い
漬してやりました! 矢野啓文



ドイツ連邦共和国(ケルン、アルテンブルク、ベルリン)訪問

10月27日～11月10日までの2週間、政府主催の「日独青少年指導者セミナー」に参加し、ドイツ連邦共和国(ケルン、アルテンブルク、ベルリン)を訪問しました。このセミナーは、日本とドイツ両国間の理解と親善を深め、青少年交流の発展を図ることを目的として実施されているもので、50年以上の歴史ある交流事業です。日本から、青少年の指導や支援に携わる18名が二つの団に別れてドイツ各地の公的機関や民間団体等を訪問し、ドイツにおける青少年援助の法令や施策、事業の実際、専門家の関わり方など、多岐に渡って学びました。また、期間中は2泊3日のホームステイによる交流もあり、現地の生活習慣や価値観を直接体験することで、文化の違いや共通点を理解するプログラムもありました。

ドイツには、第2次世界大戦までのナチズムへの深い反省から生まれたドイツ連邦共和国基本法(1949年)があり、「人間の尊厳と保護は国の義務」「独裁者への抵抗権」「政治的に迫害されている者を保護する義務」「人道支援や民主主義教育は国民の責務」などが明記されています。今回出会った青少年教育の専門家のみなさんは、この理念をよく理解し、青少年育成活動が「主体形成」「民主主義教育」を目的として、子供や若者が自発的に参加し、自己決定・共同決定できる機会を継続させるために全員参画を目指して、機能的に実施できるよう努めておられました。特に、シリアやアフガニスタン、ウクライナ等からの移民・難民の子ども・若者をどのように社会に受け入れ、統合させていくのかという、大きな課題に直面している現場の苦悩も垣間見ることができました。



ベルリン市内の戦禍を伝える教会跡

今回のセミナーで特に心に残ったエピソードを二つ紹介します。一つは、旧東ドイツの人口8万7千人ほどのアルテンブルク郡にある「コモ・ベント」というサンバチームを訪問したことです。この団体は、ボランティア支援者のヤネック氏が「徹底的にインクルージョン」をモットーに結成したチームで、郡内の6～27歳の子ども・若者、成人50人ほどが所属しています。身体・精神障がい、貧困・移民背景など、困難の有無にかかわらず共に打楽器演奏活動を行います。活動は無料で、揃いのウェアや楽器を与えられ、食事も提供されます。社会的にハンデを抱えた若者が、多様な仲間と共に演奏を楽しみ、学び合いながら、時を忘れてリズムを刻み、音とリズムが一体感を増すにつれて、国籍や民族、障害の壁を乗り越えて、



サンバグループと一緒に演奏体験

一人ひとりが尊厳のある「人」であるという価値観において一つになることを体感しました。

二つ目は、ホームステイでお世話になった Heber さんご家族との交流です。ご主人と奥様は私と同世代で、1990 年のドイツ統一までは東ドイツで育ち、以後 35 年間は統一ドイツで生活しています。リビングでビールやワインを飲みながら、お互いの家族や生い立ち、受けてきた教育や青春時代の思い出、政治体制、文化、これからの社会のあり方など、多くの話題で盛り上がりました。会話の中で、旧東ドイツ時代に受けた教育や若者の育成について思っていることや、過疎化・高齢化が進む地域の今後について率直な意見交換ができ、私自身の偏見や誤解の解消につながっただけでなく、相互理解を深めることができました。また、ドレスデンやアルテンブルク市内を丁寧に案内していただき、その歴史や文化の深さを体験できたことも、貴重な経験になりました。加えて、翻訳アプリの進化が、言葉の壁を劇的に低くすることも身をもって体感しました。

第2次世界大戦の敗戦から 80 年目のドイツ連邦は、過去の歴史を乗り越え、世界有数の経済大国として、また、連邦制の議会制民主主義国家として、人権保障と権力分立を徹底していることを感じることができました。また、青少年活動に関わる多くの専門家が、未来を担う子ども・若者の社会参画のために、教育・福祉の垣根を越えて連携し、支援に当たっていることを知り、今後の青少年教育のあり方、社会教育の進むべき方向を明確にできたと考えています。



ホストファミリーの Heber さんご家族



ベルリンの壁の監視台で学ぶ若者たち

10月25日に宇和島ライオンズクラブ結成70周年記念式典がJAえひめ南-イターナルホールで開催されました。亀岡会長、沖村前会長、幹事の私亀田、来賓として寺尾アラート委員が招待されました。

オープニングの子供太鼓から始まり、式典は式次第通りに進んだのですが、祝辞を述べる人が多い上に、台湾の姉妹クラブやハワイの友好クラブが招待されており、それぞれの祝辞は通訳が翻訳して紹介するものですから、非常に長い式典になりました。

第二部の祝宴の前に、宇和島水産高校のフィッシュガールによるマグロの解体ショーがありました。まだ2回目だというのに、包丁さばきがサマになっており感心しました。解体されたマグロは祝宴中に振る舞われましたが、これはたいへん美味しゅうございました。祝宴の料理は、JAえひめ南では作れず外の料理屋から運んで来るので、裏方さんは忙しそうでした。

くじ引きでは、残念ながら、3人ともこれといった物は当たりませんでした。参加賞をいただいて帰りました。この日に至るまでの宇和島LCの皆さんのご苦勞を感じながらも、今後こうした式典の簡素化を図ることこそがむしろ大切なのではないかと思います。 報告 亀田 雅史



お祭り村の開催にあたり、ご協力いただいた会員の皆様、誠にありがとうございました。綿菓子やダーツのコーナーには長い列ができ、大変な賑わいとなりました。また、積み木コーナーではブルーシートの上でたくさん子どもたちが高さを競い合い、座る場所もないほどの盛況ぶりでした。

バルーンアートやシャボン玉も好評で、特に自動で発生するシャボン玉を子どもたちが楽しそうに追いかけていました。

午後4時にはイベントを終了し、後片付けを始めましたが、さすがは経験豊富な会員の皆様、わずか10分ほどで片付けが完了いたしました。

今年は例年にも増して多くのお客様にご来場いただき、皆様に楽しんでいただけたと感じております。これもひとえに、会長をはじめ各部の責任者の皆様、ご協力いただいた会員の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

おまつり村担当委員長 岩田重栄





弓達Lの娘さんが、ヘアドネーションをされたと聞きました。
それは素晴らしい！
と感じ、是非とも実行されたご本人の思いをお聞きしたいという事で会報の掲載と原稿の依頼を行いましたところ、ご本人より、
「広報誌の掲載されるために行った訳ではなく、本当に困っている方の役に立ちたくて行ったまでです。」 とのこと。
なんとも信念を感じるご発言でありました。
とは言え私たちLCメンバーや、行いたくても実行できない資源の乏しい男性は、このようなヘアドネーションの実行例や喜びの声などを広く知っていただくために啓蒙していくことが大切であると感じた次第です。

矢野 啓文



ドネーション報告

【 9月第2例会 ～ 11月第1例会 例会ドネーション 】

9/26	亀岡	運動会の季節になりました、明日新谷小学校の運動会に行きます
9/26	亀田	windows10のサポートが終了します、新しいパソコンを購入しました
9/26	矢野	9月号会報発刊に至りました、原稿記事の収集がんばります
9/26	宮下	残暑お見舞い申し上げます
9/26	菊池	食欲の秋、酒の秋となりました、よろしくお祈りします
9/26	沖村	肱川クリーンフェスタ 10/25(土)よろしくお祈りします
10/10	亀岡	孫が1才になったので12日に一升餅をします
10/10	亀田	ドジャース戦の最後の肝心なところは接客中で見ていない
10/10	沖村	本日10月10日10歳、孫の誕生日です。お呼ばれで行きます
10/10	渦尻	10/19春賀の里まつり、亀岡会長他5名の方どうぞよろしくお祈りします
10/10	久保	2泊3日で記念病院にて宿泊してきました
11/14	岩田	おまつり村ご協力ありがとうございました
11/14	亀田	おまつり村おつかれさまでした
11/14	弓達	おまつり村参加できなくてすみません、皆様おつかれさまでした
11/14	亀岡	紅葉が色づき始めました 18日～冷え込んできれいになります来てください
11/14	久保	紅葉が色づき始めました 新谷もみじ山へ来てください
11/14	宮下	春賀の里まつり ダーツ景品ぬいぐるみドネーションいたします
11/14	池本	11/9 福岡マラソンに出してきました、何とか自己ベスト更新できました
11/14	矢野	一昨日までインフルエンザ 38℃の熱が3日間続きました
11/14	沖村	来年1/18お遍路さんします、よろしくお祈りいたします
11/14	中尾	10/27～11/10ドイツに研修に行きました、多くの学びがありました
11/14	村上	11/11に7年ぶりのライブをやらせてもらいました、宮下さん、久保さん、井上さんありがとう
11/14	井上	おまつり村おつかれさまでした、慰労会もありがとうございました
11/14	稲見	今月46才になりました、クラブからも素敵な花束ありがとうございました

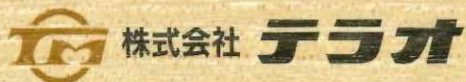
支援募金箱

9/26	沖村	石川県支援募金
10/10	沖村	石川県支援募金
10/10	矢野	石川県支援募金
11/14	沖村	石川県支援募金

ドリンクドネーション

9/26	中野	中尾	久保
	亀岡	宮下	村上
	亀田	兵藤	菊池
	富永	池本	沖村



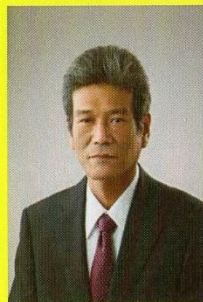


株式会社 **テラオ**
代表取締役 **寺尾 幸記**

〒795-0075 愛媛県大洲市喜多山甲100番地
TEL 0893-25-2008 (代) FAX 0893-25-3696
E-mail: k-terao@iaa.itkeeper.ne.jp
携帯 090-3784-2076

お車のことなら何でもご相談ください

成長自動車株式会社



沖村 忠

OKIMURA MAKOTO

代表取締役

〒795-0064

愛媛県大洲市東大洲1041-1

TEL 0893-25-3123

FAX. 0893-25-3192

pitwork777okicyan1961@gmail.com

久保不動産開発株式会社

代表取締役 **久保 昭生**

〒795-0071 愛媛県大洲市新谷乙1528番地1
TEL 0893-25-4501
FAX 0893-25-4502
携帯 090-9555-0620
E-mail: kubofudousankaihatu@gmail.com
https://kubofudousankaihatu.com/



(有) **亀岡 モーターズ**

代表取締役 **亀岡 玄良**
〒795-0071 愛媛県大洲市新谷乙1377-1
TEL (0893) 25-0911
スバル ショップ 大洲

スナック **百音**

是澤 智恵子

大洲市中村 228-7 TEL 24-7031

くうちゃん食堂

古野 青弘

大洲市河辺町植松 382

TEL : 0893-39-2233 FAX : 0893-39-2235

★ 編集後記 ★

高市早苗政権の発足から、約1か月を迎えた。

高い内閣支持率で始動し経済政策に期待が集まる。高支持率の誠二史さんをうまく使い、政策の実行に指導力を生かしてほしい。経済社会においての人材不足が懸念される中で、社会に活躍する者が男性ばかりに固執するのではなく、多様性を求めることにより男女を問わず優秀な人材は、様々な立場に起用されるべきであると考えている。私自身の職場においても女性の人材は多数存在するが、女性従業員へ責任のある立場への登用を試みると遠慮する考えの女性が圧倒的に多い。遠慮をする理由はそれぞれにあるが、職業においての女性登用の意識はまだ女性自身の意識が追い付いていないように感じる。ライオンズクラブメンバーにおいても、社会で活躍をする女性達が積極的に参加してほしいと感じるとともに、より門戸を開き迎え入れる体制は取り続けられないといけないと考える。

会報担当委員長 矢野 啓文